

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
HIP HOP7											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	TAMIYA/YWKI/ACHI			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
<TAMIYA> 東方神起、三代目JSoulBrothers、ANARCHY、SMAP、山下智久、EXILE SHOKICHI、inds.、松下優也、SuperJuniorなどのTOUR.LIVE.MV.TV.ダンサーとして活躍。 【YWKI】 BoA 東方神起 安室奈美恵 倅田來未 大原櫻子 w-inds. Lead Crystal Kay SMAP AKB48など数多くのアーティストの振付やバックダンサー、CM出演など、現在ではライブやコンサートの演出等も行っている。											
授業概要											
この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作る。 また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。											
到達目標											
この科目ではHIP HOPの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解します。											
授業方法											
ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスntемаにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	YWKI先生応用④/日本語詞の楽曲を用い、振付の意味を理解し表現できるようになる										
第2回	YWKI先生応用⑤/楽曲・振付の意味を理解し、既定の振付に自己のニュアンスを加えて表現できるようになる										
第3回	YWKI先生応用⑥/既定の振付課題を用い、少人数グループごとに表現力のレベルチェックを行う										
第4回	TAMIYA先生応用④/運動量が多い振付を反復練習し、疲労度が高まってもパフォーマンスを維持できるようになる										
第5回	TAMIYA先生応用⑥/細かく且つ運動量が多い振付を実践し、常に集中力を持続させるトレーニングを行う										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
HIP HOP7	
第6回	TAMIYA先生応用⑥/長めの振付課題を制限時間内に覚え、オーディション形式で振り覚えの技術をチェックする
第7回	ACHI先生応用④/リズムキープが重要となる振付を実践し、早いテンポでも正確な振付ができるようになる
第8回	ACHI先生応用⑤/既定の振付課題を用い、リズムに重点を置いた自由演技を続けて踊れるようになる
第9回	ACHI先生応用⑥/少人数のグループで既定振付～自由演技を発表し、表現力のレベルチェックを行う
第10回	卒業公演 振付①/振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する
第11回	卒業公演 振付②/ユニゾンパートの振付を練習する
第12回	卒業公演 振付③/ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める
第13回	卒業公演 振付④/オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を決める
第14回	卒業公演 振付⑤/ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる
第15回	レベルチェック/振付①～⑤までの精度を確認し、パート構成に臨む準備をする